


## 田辺市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施結果

No.	提出された意見内容	意見に対する考え方
1	<p>最上段 田辺市過疎地域持続的発展計画の過疎に続き(化素)を入れる 計画書を作る語句などの採用ルールはあろうかと、思われますが、「過疎(化素)地域」と(化素)を付記して地域の持つ素質を活かす意図を含められると思いますが。</p>	<p>法律に基づく計画となりますので、法律にない用語を使うことはいたしません。</p>
2	<p>下段 和歌山県田辺市企画広報課といれては？ 市民になどに読んで貰うとすると担当課が入るとわかり易いかと、最後の頁に入る？</p>	<p>事務局として取りまとめを行ったのは、企画広報課になりますが、市全体の計画のため、「和歌山県田辺市」としております。</p>
3	<p>持続的発展へのイメージ図を挿入しては</p>  <p>田辺・龍神・本宮・中辺路・大塔の既存特性を与条件として龍神・本宮での温泉で癒し中辺路・大塔の山の緑と川の青さで心に憩いを消滅させず賞辞させていく事をビジュアルに訴求するために ※互格は互いの地域の特性の格を尊重し持続させる みなべは行政区域外ですが地理的な連坦性があり、世界農業遺産では梅で想いの接着性があるので連坦させてみました？</p>	<p>基本方針及び基本目標で記述している内容とご提案いただいたイメージ図が一致しておりませんので、掲載はいたしません。</p>
4	<p>[1]人口の推移 以下六行目の また、山間地域である… 山間は地理・地形からの表現と思われ、賑わいから(過)疎外感を感じますので「田辺地域外の周辺地域」に変えるほうが語句からもイメージで過疎感を払拭出来るのでは？</p>	<p>「市街地」と「山間地域」については、まちの形態を表しているものですので、ご提案いただいている表現を使うことはいたしません。</p>


## 田辺市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施結果

No.	提出された意見内容	意見に対する考え方
5	<p>38行目 さらには消費者ニーズの多様化や消費行動の変化により衰退が進んでおり、大きな課題となっている。一方で…、都市との交流や産業間の連携、融合などに努める必要がある。の状況把握を踏まえて課題解決をどうするか？ 地域の老若男女を問わず、公民を問わず<u>努める</u>ではなく、<u>務める</u>の与えられた任務や役割を果たしていく公民連携が小規模多機能自治にも生かされてくると思います。 そのためには「<u>リカレント教育</u>」で全ての住民が共育で地域の学び直しが必要かと</p>	<p>ご提案の件については、50ページ[2]生涯学習の項で言及しております。</p>
6	<p>16行目から (5)地域の持続的発展のための基本目標 上記の基本方針に基づき…期待できるものとする。また、本市への移住者数…ものの、高校卒業後の若者が大学等への進学や就職のために<u>転出</u>することが、社会減の最大の要因と考えられる 若年層の地元回帰の具体的な方法論が重点となり、<u>転出させない方法</u>や<u>転出の歩留まりを上げる</u>ことか？ まず進学先を近郊で設置する、交通アクティビティで時間距離の短縮で通学をショートにする。</p>	<p>新法において、「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」の項が格上げされており、地元回帰の取組は、その枠組みの中で行うこととしております。</p>
7	<p>24行目 人口減少の抑制に努める。 <u>努める</u>を<u>務める</u>とする そのためには子育て支援への取り巻く環境の“育てやすさ、働きやすさ、学びやすさ、住みやすさ”の複合的な暮らしやすさを醸成し「ウエルビーイング」な持続性のある環境を創る。ことかと</p>	<p>「務める」は、「任務を果たす」という意味であり、この項においては、「努める」が適切と考えております。</p>
8	<p>[6]商工業 7行目 ス活動調査)…、高速道路を中心とした幹線道路の発達、… 8行目 …、消費行動が京阪神へ移行している 幹線道路の発達は“諸刃の剣”になり消費地側からはストロー現象となり人とお金が移動します。通勤や他の目的行動にとっては時間距離の短縮は金銭に代えがたい交通アクティビティのメリットです。 人の移行と共に8月14日の日経新聞掲載の『世界農業遺産』コンビの(内)連携「みなべ町・田辺市」の「果実・梅干し」を流通経路のショートカットで分配(分化配達)構築をして金銭の往復が可能ではありませんか？</p>	<p>高速道路を中心とした幹線道路を活用し、観光や商工業の振興につなげていきたいと考えております。</p>

## 田辺市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施結果

No.	提出された意見内容	意見に対する考え方
9	<p>15行目            …街なかの賑わい創出に取り組んだ            併せて当地の江戸期の文化歴史を見返すと旧城下町の丁字路が八十数か所が遺りその風情が散見されます。            ”温故知新”的に城下町遺産を遺し街なか散策を創出出来るのでは。</p>	<p>街なか散策については、21ページに記載の『世界遺産熊野古道を始め、海や溪谷などの自然資源と温泉や食文化などの資源や世界農業遺産等を活かした農林水産業及びスポーツ振興等を組み合わせるなど、様々な地域産業との連携による交流事業』の一つの要素であると考えております。</p>
10	<p>[7]情報発信産業            29行目～33行目            情報発信産業に…結びつかない状況にある。            人が減ることは物や、事も減っていくのが通りです。            それを補完するには白浜町やみなべ町との「(仮称)紀伊半島」フックローカルネットワーク」でそれぞれの立地特性を生かし誘致の相乗効果を図る。また他都府県とのリージョナルネットワークも形成し、「ワーケーション自治体協議会」(副会長市)を背景に長野県(会長県)などのと【”リンゴ &amp; オレンジ”ワーケーションリージョナルネットワーク】を形成し、働き方の時のワークシーン消費の分化を図り、温・暖の地域格差を補完し、働く環境の転化を期待する。            この人材交流での関係人口からの人の滞留が「滞在人口」に結びつきませんか。</p>	<p>21ページに記載しているとおり、『経済団体との連携によるIT人材育成プログラムの構築や企業立地奨励金の拡充』について検討を進めていきたいと考えております。</p>
11	<p>[8]観光            35行目            本市は…            9行目            質の高い観光地づくりを…必要がある。  <u>熊野三山の神(神社)と、高野の仏(仏閣)との北(高野)とのスピリチュアルの共有と連携から相互往来へと、地域ブランドの交換にも繋がる。</u>と思われ            ます。            キャッチ”ノウス高野へサウス熊野へ”            ※みなべ町からすさみ町・串本町の紀勢道の「横串」と、南十字星効果で『縦串』が期待されませんか</p>	<p>広域的な連携のテーマは様々あるとは思いますが、基本的には、21ページに記載しているとおり、『周辺地域との広域観光の連携強化』を図っていくという考え方にしております。</p>

## 田辺市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施結果

No.	提出された意見内容	意見に対する考え方
12	<p>[1]農業 11行目 …きめ細かな就農支援を行い… 第一次産業を第六次産業へシフトしていく必要性を感じ、後継者不足、廃業から脱却させるために、「NO業経営👉」から『NOW業経営👉』と捉えていきたい。 そのエールが8月14日の日経新聞の”地域再生”の記事が応援団となっていないませんか？ <b>【梅の和歌山、2市町躍進】地域再生</b> <b>関西農業「果実」が急成長</b> 国内最大の梅の産地の「世界農業遺産みなべ・田辺」ブランドを『果実』として捉え直して、農業産出額100億円超の10市町順位、③和歌山県田辺市135億円(51%増)、⑤和歌山県みなべ町117億円(77%増)を①・②を両地で占める方策と施策をPTで検討していきたい。と思います。 基幹作目である梅、が生産、価格とともに安定せず…</p>	<p>農業経営といった観点で見た場合、農業振興施策全般が農業産出額の向上に資するものであり、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。</p>
13	<p>[8]観光 SDGs17 9行目「世界に開かれた持続可能な観光地づくり」を推進する 今の取り巻くコロナ環境下において、感染症と不可分での生活が世界的な視野で見えています。 持続可能な捉え方をニューノーマルをアフターライフに置き換えていかないといけないと感じます。 「人が持続」・「事が持続」・「物(場)が持続」をトライアングルに使い分けて、田辺地域をシビックセンターに置き、龍神地区・本宮地区・中辺路地区・大塔地区がそれぞれに与条件の立地特性や 歴史特性をセグメンテーションしていく事かと。 SDGs17を市内全域の目標とする 目標👉(計画全て) </p>	<p>21ページに記載しているとおり、『世界遺産熊野古道を始め、海や溪谷などの自然資源と温泉や食文化などの資源や世界農業遺産等を活かした農林水産業及びスポーツ振興等を組み合わせるなど、様々な地域産業との連携による交流事業などに取り組む』ことで、「世界に開かれた持続可能な観光地づくり」を推進していくという考え方にしております。</p>

## 田辺市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施結果

No.	提出された意見内容	意見に対する考え方
14	<p>14行目            …、着地型観光を推進するための旅行業務等を実施していく。            仏教の”看却下”の目線を羅針盤に着地型観光を「着心型感光」に着眼し、易経の観光の語源から『觀國之光利用賓于王』(國の光を観る【みる】もって王に賓たるに利し【よろし】)言い換えると～國の光を観る～から、足元の地元の隠れた見つけられていない「良い所」ではない、『好い処』を観せることではないでしょうか</p>	<p>前項目でも述べたとおり、地域の様々な資源を活かして、観光振興に取り組んでいくという考え方にしております。</p>
15	<p>7子育て環境の確保            (1)現況と問題点            [1]児童福祉            25行目に            安心して子供を産み育てることのできる支援体制を築いていく事で子育て世帯に対してウエルビーイングな環境を作ってあげることだと思います。</p>	<p>41ページに記載しているとおり、『子育てに関する相談や情報の充実、子育てにやさしい地域コミュニティの形成を促進し、子育てを支える環境づくりを推進するとともに、多様化する保育需要に対しては、保育サービスの更なる充実に努め、子育てと社会参加の両立を支援する。また、子供の健やかな成長のため、母子保健の充実や安心して子育てができる生活環境の充実に努め、次代を担う子供が健やかに育つ環境づくりを推進する。』という考え方にしております。</p>
16	<p>(2)その他            [1]児童福祉            25行目            保育所については…児童数の推移や適正配置を十分に見極め、建替えや施設修繕などを検討する。            建替えや施設修繕や適正は立地を踏まえて他の公民の施設などに併設などを検討する。例として「公民館」などに併設</p>	<p>本計画には記載していませんが、「公共施設等総合管理計画」では、『多様な利活用方法を想定した公共施設の更新』を基本的な方針に位置付けており、施設更新の際に、様々な観点で検討することになります。</p>